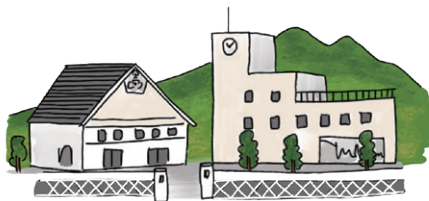


教育のまち、津和野町の「これまで」と「これから」

2013年(平成25年)に津和野高校で始まった魅力化の取り組みは、2024年(令和6年)に新しいフェーズに入りました。これまで取り組んできたひとづくりをまちの活性化へとつなげるために、つわの学びみらいがハブとなりこれからも活動していきます。

はじまり

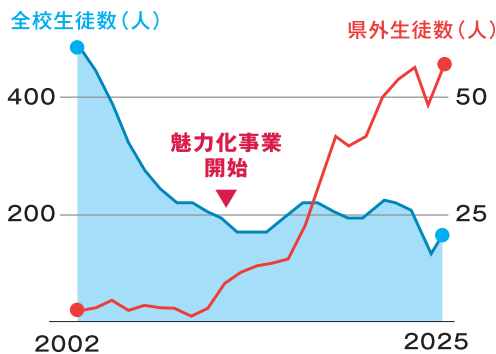
2013



津和野高校統廃合の危機から 高校魅力化事業開始

津和野高校に魅力化コーディネーターを配置し、県外生徒募集活動も開始。地域に密着した「やりたいことができる高校」へ。

津和野高校生徒数の変化



- ・入学志願者が2025年で3回目の1倍超えを達成。
- ・総合型選抜だけでなく一般選抜の難関大学合格者も増加中。

これまで

2018



0歳児からのひとづくり プログラムを策定

教育によるひとづくりを、まちづくりへと発展させる流れを生み出す。

育てたい人材像と3つの力



幼児教育～小中学校にもコーディネーターを配置し、校種を超えたタテのつながりを創出する。子どもの学びがおとなの学び・成長へとつながる。

いまはここ!

2024~



津和野町で育った人材が 循環し、新たな価値の創出へ

多様な人が多様なカタチで関わり続けられる、関わり続けたいと思うまちづくりを目指します。

多様な人の交流によるかけ算



企業・団体・大学など多様な組織や人と関わり、協働することがまちの魅力化・活性化へとつながる。多様な人の交流により起こるかけ算や化学反応が、新たな視点や価値を生む。

「0歳児からのひとづくりプログラム」とは

津和野町の未来を担う人材像「大人になっても自ら学び続ける」ひとづくりを目指しています。津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、0歳児から教育的視点を持った各種施策を行うとともに、保育施設・小学校・中学校・高等学校の校種の壁を超え、系統性のある教育体制の構築を図ることを目的に町が策定しました。

つわの学びみらいが目指すのは

誰もが学び続けられる

誰もがチャレンジできる

そして誰かの成長が誰かの成長を生む
そんな成長が循環するワクワクするまちです。

この小さな町に揃う多様なヒト・モノ・コト、

そのすべてを学びの対象として捉え、

このまちに住むすべての人に

学ぶチャンスがある環境をつくります。



まち全体が学びの場。

わたしが変わることでもちが変わり、

まちが変わることでも世界が変わることを信じて、

私たち自身も変化し、チャレンジし続けます。

次の一步を津和野町の次世代へ



一般財団法人つわの学びみらい
代表理事 宮本善行

昨年の報告書で、木の年輪に例えてこの10年で培った芯に年輪を重ねる時期へと入っていることを紹介しました。新たな一皮、それは従来の活動を漫然と続けるのではなく、子どもたちの時代(芯)を大切に、津和野町への「人の流れ」を生み出し、定着させる還流の仕組みづくりに貢献するという、具体的かつ実践的な新しい段階に進むことを意味します。折しも津和野高校では普通科改革が進められています。この重要な転換期において、弊財団は、地域教育団体との連携を軸とし、さらに産業界、行政、教育機関をつなぐハブ(結節点)としてその役目を全ういたします。地域全体を学びのフィールドとする改革を支え、次世代の津和野町を担う人材育成に貢献してまいります。引き続き、皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

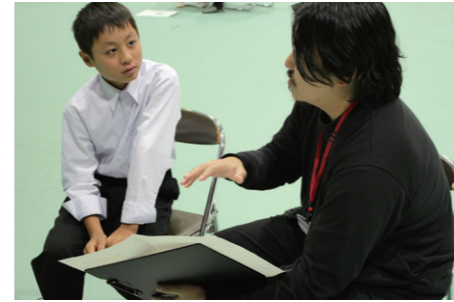
撮影協力: 津和野高校 田原 悠樹さん

令和7年度の活動報告

中学生×おとな

対話学習や職業体験を通して育む、自分らしい生き方

中学生が、多様な生き方に触れながら自己理解を深め、進路やキャリア形成に役立てることで、ふるさとを想う気持ちを育むことを目的に、地域の大人との対話学習や地域の社会資源を活用した職場体験・農林業体験を実施しました。中学生が将来の具体的なイメージを持ち、進路について考える意欲が向上したほか、地域の大人のロールモデルに触れることで、広い視野で自分自身を見つめ直し、地域への愛着や誇りを育むといった成果が得られています。



津和野中学生と大人との対話「ツワーク」

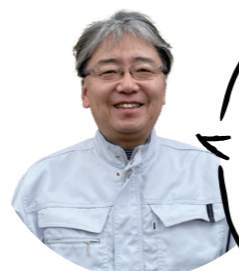
日原中学校
やまね ようへい
山根 耀平先生

総合的な学習の時間をはじめとした様々な学習で地域と協力することができました。生徒や学校の「やってみよう」を実現させてくれる存在です。



津和野中学校
よした ほのみ
吉田 穂実さん

地域の人たちの笑顔がたくさんあったから、自分も明るい気持ちになることができました。人と関わることで、自分の考え方も広がると感じています。



大仲屋本店 / 社会教育委員
ながみね さとし
永領 里志さん

様々な学年と関わる中で、自己表現が上手な子どもが増加を実感しました。幼少期からの豊かな対人関係と、安心できる経験の積み重ねがあると感じています。

高校生×地域

ツコウの探究活動 学び合いから生まれる新たな一歩

学校全体で、学年を超えた学び合いと教え合いが広がりました。1年生は地域の方10名と哲学対話を行い、体験型講座プリコラーージュを生徒自ら企画・実施しました。2年生は、日原地区の公民館やTMCなどの地域拠点も活用しながら探究テーマを設定して取り組み、失敗と挑戦を重ねました。3年生はこれまでの学びを振り返り、Googleサイト上で表現するなど、探究が自然に循環する1年となりました。



TMCでの探究活動の様子

子どもからおとなまで

公民館を拠点とした 多世代の“学びの循環”を創出

公民館や地域団体との連携をより深めることで、世代を超えた「学びの循環」の創出を目指しました。通学合宿や各地区の公民館祭りなど多世代が関わる事業では、子どもたちが地域の大人から知恵を教わり、大人が子どもたちの感性に触れる「共生」の学びが生まれました。こうした連携により、津和野町が、子どもにとっては「多様な大人に出会う場」、大人にとっては「次世代を育てる喜びを感じる場」になっています。



公民館を拠点に多世代が交流



津和野高校
むらかみ せいな
村上 征夏さん(津和野町出身)

多くの壁にぶつかすることで、仲間の大切さや当たり前があったさなどを感じることができました。自分自身と向き合う良い機会にもなり、将来に一步近づくことができました。



津和野高校
はやかわ あき
早川 明希さん(大阪府出身)
こんどう みお
近藤 美緒さん(広島県出身)

津和野町には素敵な人がたくさんいて、出会いに心を動かされます。こんな人になりたいと思うにも出会え、いつも勇気をもらっています。自分自身についても考える機会が増えました。



小川地区青少年
育成協議会 会長
くらます まさみつ
倉益 正光さん

通学合宿では、小学生が地域の方々や高校生に教わりながら成長しています。家で学んだことを進んで役立てて欲しいです。

高校生×セカイ

小さな町から大きな世界へ! ツワノセカイ部

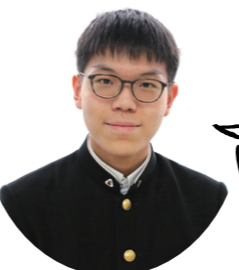
令和5年度から始まった「ツワノセカイ部」は、国際・異文化理解を深めることを目的とした、みらい共創センターHAN-KOHのクラブ活動です。9名(R8.2月現在)の部員が英語を学びながら、外国人観光客へのまち案内や、外国の料理・スポーツを通じた異文化体験活動を行っています。毎年実施している北九州への研修旅行に加え、今年度は新たに山口県の国際交流イベントにも出展しました。多様な背景を持つ人との交流を重ねることで、部員たちは言葉の壁を越え「一歩踏み出す勇気」を育み、自ら生きた学びを深めています。



まち案内をした観光客のみなさんと記念撮影

津和野高校
おぐら しょうた
小椋 翔太さん(吉賀町出身)

外国の方と関わる貴重な体験ができています。これからも英語に磨きをかけていきたいです。



香味園 上領茶舗
かみりょう るみ
上領 瑠美さん

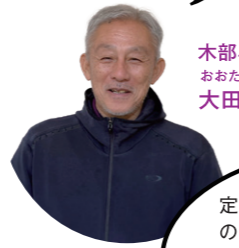
津和野町の日本遺産英語ガイドとしての活躍は、海外ゲストからも喜ばれています!



日原小学校6年生。英語の文章もスラスラと読めるようになりました!

子どもたちが楽しんで英語の学習に取り組む、中学校の英語学習への見通しが持てました。

木部小学校
おおた ゆたか
大田 裕先生



定期的に学校に来てくれるので、生徒も関わりやすくなり、学習でつまづいた際も大きな助けとなりました。



津和野中学校
まつもと まさこ
松本 雅子先生

子どもからおとなまで

ヒト・モノ・コトの交流拠点 みらい共創センター HAN-KOH

みらい共創センターHAN-KOHでは、中高生や地域住民、企業の方など多様な人が集い、関わり合い、対話することで新たな価値をともに創造することを目指しています。津和野高校敷地内にあり、高校生のプロジェクト相談や個別の学習支援、英検対策指導も行っていきます。令和7年度は、中高生と地域の方々交流するイベントを9回実施し、延べ259名の交流が生まれました(R8.2月現在)。



多くの人が集うHAN-KOHカフェ

CoderDojo津和野
なかがわ けい
中川 啓さん

CoderDojoの活動は、地方では一人で続けるのが難しいものですが、会場や機材の提供に加え、講師の機会や人とのつながりまで支えていただいています。



日原中学校
なかがわ かい
中村 權さん

HAN-KOHはとても落ち着いて勉強ができる場所です。また、勉強だけでなく、イベントもあるので楽しいです!



みらい共創センターHAN-KOH
英語実用技能検定(通称:英検)
R7年度の合格実績
高校生
2級: 1名 準2級プラス: 1名
準2級: 2名 3級: 3名

津和野高校入学実績
■ R7年度入学実績
80名(内訳:県内49名/県外31名)
■ R8年度入学予定者数
53名(内訳:県内22名/県外31名)
*定員は80名



まち全体が
学びの場

つわの学びサポート助成金事業をスタート!

令和7年度、津和野町における高校生および卒業生※1の挑戦に対して、5万円を上限に助成金を交付する「つわの学びサポート助成金事業」を開始しました。採択された2つのプロジェクトを紹介します。※1卒業後4年以内に限る



つわの@HOME プロジェクト 夏の放課後さんま 『さんまつり』

メンバー
きりやま まさくら
桐山 桜さん(神戸親和大学4年生/津和野高校卒業生)
おおはた りく
大畑 涼空さん(津和野高校3年生/津和野町出身)
おの まおみ
小野 希音海さん(津和野高校2年生/神奈川県出身)
かざなみ くれは
笠次 紅羽さん(津和野高校1年生/京都府出身)

夏休みの子どもの居場所を創出することで、子どもたちの自己肯定感の向上や地域のつながりづくりを目指しました。当日は小・中学生51名が参加し、出店の準備や運営を行いました。多くの地域の方が来場し、顔見知りの輪が広がる温かい空間となり、多世代が関われる場の大切さを改めて実感しました。



卒業生の桐山さんは、後輩に自身の背中を見せたい!との思いも。

誰もが安心して過ごせる場でした。

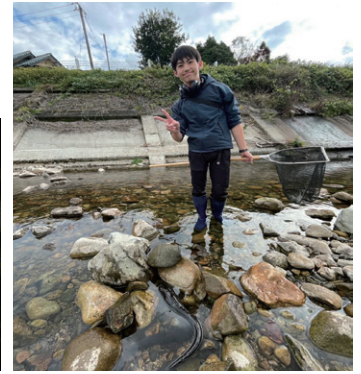
田んぼラボ津和野

メンバー
まつふじ そういちろう
松藤 宗一郎さん(津和野高校1年生/福岡県出身)

耕作放棄地をビオトープとして再生し、生物多様性の保全と環境教育の拠点づくりを目指して活動しました。高津川の水生物調査を軸に築いた、町内外の専門家や有志とのつながりを糧に、今後は子どもたちが「自然と遊び、学ぶ」、大人が「自然を守り、つながる」場づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



地域の専門家と一緒に鮎の調査。



高津川での生き物調査でなまず発見!

高校生の想いが地域を巻き込み、 新たな“いま”を創っています!

つわの灯籠流し復活プロジェクト

2019年に、感染症の流行や企画メンバーの高齢化等により中止となったつわの灯籠流しを、2024年に高校生とまちの人が中心となり復活させました。高校生が発案した企画ですが、2年目の開催となる今年度も、その熱意に賛同した地域の大人や中学生など約70名が、実行委員や当日ボランティアとして携わり、年に一度の行事の担い手として活動を支援しました。



津和野の夜を彩る美しい灯籠。

津和野高校
はらだ ともき
原田 友暉さん
(津和野町出身)



原田さん考案の灯籠ポーズ♪

小さい頃の思い出をきっかけに、多くの方にご協力いただき活動することができました。卒業後も後輩と協力し、後輩の学びをより良くできるように3回目の灯籠流しに向けて取り組んでいます!

TOPIC

もしも、津和野高校が 統廃合されていたら!?

2011年、津和野高校統廃合の危機から始まった高校魅力化プロジェクト。もしもあの時、津和野高校が統廃合されていたら、今の津和野町はどうなっていたのかを、分析してみました。

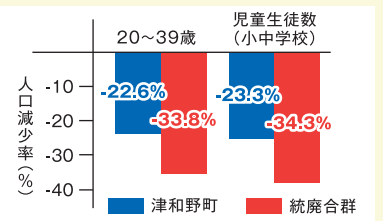
方法

統廃合群(2005年以降に、町唯一の高校が統廃合した全国の類似10町村)の統計データを抽出し、津和野町と比較・分析を実施。

結果

2020年までの20~30代の人口減少率が22.6%対33.8%、小中学校の児童生徒数の減少率が23.3%対34.3%となりました。高校の統廃合により、津和野町の人口が統廃合群と同じ推移を辿ったと仮定した場合、20~30代は113名減少(824名→711名)、小中学校の児童生徒数は56名減少(392名→336名)していたことになります。

この結果から、高校魅力化の取り組みが、町の持続可能性の向上に良い影響を与えている可能性があるかと分かりました。



※分析方法によっては異なる結果が出る可能性があります。

つわの学びサポーターズ募集中です!

「つわの学びサポーターズ」は、津和野町のひとつづくり、そしてまちづくりを応援してくれる仲間(サポーター)のことです。毎月一定額(500円~)を継続的にご寄付いただき、津和野町の子どもたちが地域に出て学ぶ際など、私たちの活動に活用させていただきます。令和5年度にスタートし、現在15名(R8.2月末時点)がつわの学びサポーターズとして応援してくださっています。

サポーターズ限定の活動報告会や意見交換会など、みなさんとの交流を通して一緒にワクワクする未来をつくっていきたく思います!詳しくは右記☺️QRコードよりご覧ください。

一般財団法人つわの学びみらい

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3

TEL: 0856-72-1506

E-mail: info@tsuwano-mm.org

